

記者発表資料
平成21年5月7日
こども青少年局青少年育成課長
岩元 隆道 電話 671-2297
(財)横浜市青少年育成協会
はまぎん こども宇宙科学館副館長
小林 茂雄 電話 832-6355

横浜市政記者クラブ、横浜テレビ・ラジオ記者 各位

はまぎん こども宇宙科学館開館25周年記念

「ニュートンのりんごの木がやってくる」

～ 子ども達の科学への関心が高まることを願い、「植樹」を行います ～

イギリスの物理学者であるアイザック・ニュートンが万有引力の法則を発見するヒントとなったりりんごの木が接ぎ木(つぎき)で増やされ、横浜では今年度開校される「横浜サイエンスフロンティア高校」と「はまぎん こども宇宙科学館」に植樹されます。(なお、今回の接ぎ木は東京大学理学部附属植物園で増やされた苗木が贈られたものです。)

科学館開館25周年を迎えるにあたり、来館する子ども達の科学への関心が高まることを願い、「植樹」を実施します。

《植 樹》

- (1) 日 時 平成21年5月10日(日) 11時～12時
- (2) 会 場 はまぎん こども宇宙科学館 前庭
(磯子区 JR京浜東北線・根岸線洋光台駅下車 徒歩3分)
- (3) 内 容 はまぎん こども宇宙科学館の和田昭允館長(東京大学名誉教授)をはじめ、0歳の子どもの家族や地元の小学生14名が植樹を行います。また、大道芸人によるショーを実施し、来館者ともに植樹を盛り上げていきます。
- ①和田昭允館長 挨拶
 - ②植樹
 - ③アトラクション(大道芸人によるショー)
 - ④記念撮影
- ※雨天の場合もエントランスホールにおいて植樹を行います。
- (4) 関連事業 「ニュートンのりんごの木」の植樹を盛り上げるため、館内では「たくさん実れ!りんごメッセージ」「集めて作ろう!りんごポイントで缶バッジ」など来館者が参加できる催し物を実施します。

ニュートンのりんごの木について(宇宙科学館「みみよりサイエンス」No.8より抜粋)

1964年2月、イギリス物理学研究所長のサザランド卿から日本学士院長の柴田雄次博士に苗木が送られました。でもその苗木はウイルスに侵されていたので、東京大学理学部附属植物園(当時)に隔離保存されることになりました。その後、研究が行われて1980年にウイルスの無毒化に成功し、それ以来接ぎ木で増やされて、今では日本中に150本以上植えられています。なお、ニュートンのりんごの木はフラワーオブケント(ケントの花)と呼ばれる品種です。